

令和6年2月6日

保護者 様

倉敷市立旭丘小学校  
校長 妹尾 朋広

## 学校教育についてのアンケート結果について

早春の候、保護者の皆様には、ご健勝のことと拝察いたします。平素より本校の教育活動の推進にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、11月より実施した「学校教育についてのアンケート」につきましては、多数のご協力をいただき、ありがとうございました。また、同時期に全児童へも同じような内容でアンケートを取りました。アンケート結果をまとめたグラフ（別紙参照）と考察について次の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1 結果の概要

##### ※ 全体

保護者の回答で、「よくあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた肯定回答率80%以上の回答をいただきました。（80%を下回る回答は設問7, 8, 9のみ。考察）

児童の回答では、全回答で90%以上の回答を得ました。

##### ※ 児童 肯定回答率○上位3項目 ▲下位3項目

- 6. わたしは、授業では、まじめに学習している。(96.3)
- 19. 先生は、困ったときに相談にのってくれる。(96.3)
- 10. 運動会や学芸会などの行事やあさひタイムは、楽しくてやりがいがある。(96.0)
- 16. 先生は、わたしのことをわかってくれている。(96.0)
- 20. 先生は、やくそくを守ってくれる。(96.0)
- 14. 地域の方は、自分たちの世話をよくしてくれている。(96.0)

▲ 9. わたしは、授業中に 自分の考えや思いを よく発表している。(90.1)

▲ 2. わたしは、あいさつがよくできている。(92.9)

▲ 15. わたしは、授業でわからないことは先生に質問できる。(93.5)

##### ※ 保護者

- 25. 教職員は、職務にふさわしい服装や話ができている。(99.1)
- 26. 学校は、子どもの学習や行動を参観できる機会をもっている。(98.6)
- 10. 学校では、学校行事や「総合的な学習の時間」など特色のある教育活動が行われている。(97.2)

▲ 7. 我が子は、読書をするのが好きである。(54.3)

▲ 9. 我が子は、授業中に自分の考えや思いをよく発表している。(60.8)

▲ 8. 我が子は、学習の基礎・基本の力をつけている。(76.4)

## 2 考察

新型コロナウイルス感染防止が5類になり、学校では様々な行事や学習・生活様式も必要な感染症対策を残しつつ、制限を感じる事がほとんどなく行うことができるようになりました。児童や保護者、地域の皆様には、中止や変更をお願いするばかりで、誠に申し訳ありませんでした。4年間感染症対策をする中で試行錯誤を繰り返し、無理や無駄を省き児童に個別・最適な学習を提供しようとする今の学校教育の流れは踏襲されます。4年前と全く同じ学校ではなく、新たな旭丘小学校を今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

アンケート結果を見ると、保護者の回答で、「よくあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた肯定回答率80%以上の回答をいただきました。児童の回答では、全回答で90%以上の回答を得ており、全体的に学校生活になじんでいることがうかがわれました。

- 児童は【設問 6. わたしは、授業では、まじめに学習している。】で96.3%の肯定的に回答しており、その中でも「よくあてはまる（とてもまじめに学習している）」と68.9%の児童が回答しておりました。また、【設問 9. わたしは、授業中に自分の考えや思いをよく発表している。】は、児童の中で最も低い肯定回答率ですが、90.1%にものぼり、62.2%の児童は「よくあてはまる（よく発表している）」とと思っていることも分かりました。【設問 15. わたしは、授業でわからないことは先生に質問できる。】でも93.5%にものぼり、65.6%の児童は「よくあてはまる（よく質問できる）」と感じていることが分かりました。これは、保護者や教職員の回答をはるかに上回る結果で、学習において児童は、学習規律を守り主体的に学習していることがうかがわれました。しかし、保護者からは、児童の回答とは裏腹に、【9. 我が子は、授業中に自分の考えや思いをよく発表している。】60.8%、【8. 我が子は、学習の基礎・基本の力をつけている。】76.4%と低調な肯定回答率にとどまっています。ご家庭や参観授業での様子をご覧になり厳しい回答をいただいたと思います。教職員もアンケート結果ほどの実態ではないように感じており、児童のやる気（自己肯定感）を伸ばしつつ、確かな学力の定着に向け、授業改善と学習支援に努めていくことを話し合いました。
- 保護者のアンケート【設問 7. 我が子は、読書をするのが好きである。】が54.3%であるのに対し児童は93%の肯定回答を出しており、学校での読書と家庭での読書との差が開いているのが気になります。学校での読書が家庭でも反映されるよう、読書に向かう取組を学校、保護者で協力しながら、内容を工夫・充実させていかないといけないと感じました。
- 保護者から【設問 26. 学校は、子どもの学習や行動を参観できる機会をもっている。】98.6%、【設問 10. 学校では、学校行事や「総合的な学習の時間」など特色のある教育活動が行われている。】97.2%、児童からも【設問 10. 運動会や学芸会などの行事やあさひタイムは、楽しくてやりがいがある。】96.0%、【設問 14. 地域の方は、自分たちの世話をよくしてくれている。】95.7%といずれも高い肯定回答率を受けました。制限緩和後、今まで控えていた学習活動が徐々に再開され、保護者や地域の方が学校に入り学習支援をしていただいたり、学校独自の取組を行ったりすることで、児童がたくさんの方と係り多様な経験をする勉強の場となっています。保護者をはじめ地域の方々、学校支援活動や学校支援ボランティアで支えてくださっているの方々のおかげだと常々感謝いたしております。

今回のアンケートを真摯に受けとめ、学力向上に向けた取り組みを進めるとともに、どの子にも居場所のある「学校が楽しい」、「勉強が楽しい」、「友達が大好きだ」と言うことのできる子でいっぱいになるよう、引き続き学校づくり、学級づくりに努めていきたいと思っております。アンケートは多数決の材料ではありません。寄せられた意見については、しっかりと検討を行い、旭丘小学校のよりよい学校教育の構築を図っていきます。全職員で力を尽くしていきたいと考えておりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今回のアンケートにかかわらず、お気づきのことがありましたら遠慮なく学校までご連絡ください。